

和歌の姿

-詠歌の場-

平成23年 1月4日(火)～2月13日(日)

和歌が詠まれ、発表されたのは、歌合や歌会という場でした。平安時代には、左右に分かれた歌人が和歌の優劣を競った歌合が盛んに催され、その後は和歌を持ち寄った歌会が催されました。和歌は懐紙や短冊などにしたためられ、その書式も整えられました。

和歌の下書きである詠草や清書された懐紙や短冊、和歌を集めた歌集や遊戯具として親しまれた歌がるた、歌会に用いられる文台や硯箱などの道具を紹介します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)
歌会と懐紙・短冊			
1	柏木切 二十巻本類聚歌合 未詳歌合 伝藤原忠家筆	平安	11-12
2	六百番歌合 恋部 残巻 伝正徹筆	室町	15
3	明月記 藤原定家著	48冊の内 江戸	17-18
4	和歌懐紙短冊調様会席等条々聞書	蟹江コレクション 江戸	19
5	懐紙書様	大炊御門家旧蔵書 江戸	17-18
6	和歌懐紙「春日同詠梅近聞鶯」	西園寺実晴筆 「芳墨拾遺」第6巻所収 江戸	17
7	和歌懐紙「春日詠寄松祝」 徳川宗睦(尾張家9代)筆	江戸	18
8	和歌懐紙「百年の」 維学心院維君(尾張家9代宗睦養女)筆	江戸	18-19
9	聖廟御法楽和歌詠草 河鰭実陳筆・霊元法皇加點	江戸	17-18
10	徳川宗睦六十賀和歌短冊帖	江戸	寛政5年<1793>
11	安政二年当座和歌短冊帖	江戸	安政2年<1855>
12	禁中御会始読師作法	大炊御門家旧蔵書 江戸	18-19

歌会のしつらえ

13	菊折枝蒔絵文台	俊恭院福君(尾張家11代齐温夫人)所用	江戸	19
14	菊蒔絵重硯箱		江戸	18
15	松に園池蒔絵硯蓋		江戸	18
16	葵紋散菊唐草蒔絵書棚		江戸	17
17	二十一代集 附 葵紋散蒔絵書物箆笥		江戸	寛永16年<1639>
18	松梅蒔絵几帳	転陵院好君(尾張家9代宗睦夫人)所用	40冊の内 江戸	18

遊びながら学ぶ

19	百人一首かるた 附 籬に菊蒔絵箱		江戸	19
20	伊勢物語かるた	貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝夫人)所用	江戸	19

以上

出品リストの番号は、展示順を示していません。

印は徳川美術館の所蔵品であることを示します。

所蔵者の記載のない作品は全て名古屋市蓬左文庫の所蔵です。

源氏物語の世界

平成23年 1月4日(火)～2月13日(日)

No.	名 称	時代	世紀(年号)
1	源氏物語(青表紙本系) 成瀬正親夫人所用 附 二八額紋散八重梅鉢唐草蒔絵書物筆笥	五十四冊の内 江戸	17
2	岷江入楚 中院通勝著	五十五冊の内 江戸	17
3	源氏物語抜書 早蕨 尊円法親王筆	南北朝	14
4	源氏物語画帖 詞書徳川秀忠(2代将軍)筆	詞五十四枚 絵五十四枚の内 江戸	17
5	白描源氏物語色紙画帖	江戸	17
6	源氏物語図屏風	六曲一双 江戸	18
7	絵入源氏物語	三十冊の内 江戸	18-19
8	源氏御祝言 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
9	源氏雪見ノ図 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
10	源氏物語五十四帖 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19

以上

尾張の神社

-新春豆知識-

現在、愛知県の尾張地域の神社で全国的にも最も有名なものは、名古屋市にある熱田神宮でしょう。いわゆる三種の神器のひとつで、古事記・日本書紀のヤマトタケル伝承でも有名な草薙剣を祭ってきた神社です。しかし神社の格というものは歴史上、さまざまに転変してきました。新春を迎え、人々の視線が神社に最も注がれるこの時期、尾張地域の神社の歴史についての関連資料を、熱田神宮を中心にパネルを交えながらご紹介します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)
1	古事記	太安万侶編(奈良時代成立)	江戸 18
2	日本書紀	舎人親王等撰(奈良時代成立)	江戸 寛文9(1669)
3	出雲国風土記	出雲臣広島等撰(奈良時代成立)	江戸 17
4	古語拾遺	齋部広成著(平安時代成立)	江戸 17
5	続日本後記	藤原良房等撰(平安時代成立)	江戸 寛文8(1668)
6	日本文徳天皇実録	藤原基経等撰(平安時代成立)	江戸 17
7	日本三代実録	藤原時平等撰(平安時代成立)	江戸 17
8	延喜式	藤原忠平等撰(平安時代成立)	江戸 19
9	日本紀略	著者未詳(平安時代成立)	江戸 17
10	万葉集註釈	仙覚著(鎌倉時代成立)	江戸 17
11	釈日本紀	卜部兼方編(鎌倉時代成立)	江戸 17
12	源平盛衰記	著者未詳(鎌倉時代成立)	江戸 慶長16(1611)
13	大日本国一宮記	著者未詳(室町時代成立か)	江戸 19
14	熱田祭奠年中行事図会	著者未詳(江戸後期成立)	江戸 19
15	尾張名所図会 前編	野口道直等編(江戸後期成立)	江戸 天保15(1844)
16	尾張名所図会 後編	野口道直等編(江戸後期成立)	近代 明治13(1880)

以上

出品リストの番号は、展示順を示していません。

印は徳川美術館の所蔵品であることを示します。

所蔵者の記載のない作品は全て名古屋市蓬左文庫の所蔵です。